

南山城跡試掘調査概報

1991

田辺町教育委員会

南山城跡試掘調査概報

1991

田辺町教育委員会

例 言

- 1 本書は、田辺町教育委員会が行った京都府綴喜郡田辺町大字三山木小字南山10-1ほかに所在する南山城跡みなみやまじょうの試掘調査概要の報告である。
- 2 調査は株式会社大和住宅建設が計画した宅地造成にともない実施した。
- 3 現地調査は平成2年10月29日に開始し平成3年2月20日に終了した。
- 4 調査の組織は次のとおりである。
調査主体・・・田辺町教育委員会
調査担当者・・・田辺町教育委員会社会教育課 鷹野一太郎
調査事務局・・・田辺町教育委員会社会教育課
- 5 本書の執筆・編集は鷹野が行った。

目 次

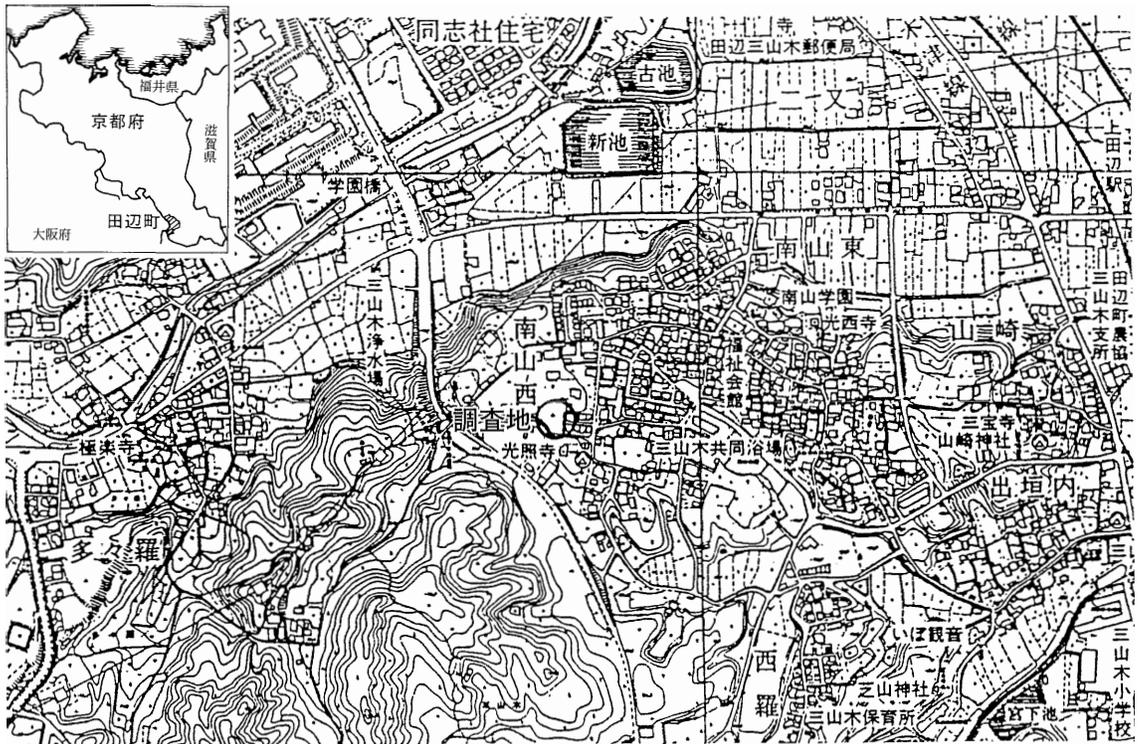
| | |
|--------------|---|
| 1 はじめに | 1 |
| 2 調査概要 | 2 |
| 3 出土遺物 | 5 |
| 4 まとめ | 5 |

1 はじめに

南山城跡は、田辺町南部、同志社校地のある丘陵とは普賢寺川を挟んだ南側の丘陵上にあり、南山西区の光照寺の北側に位置する。標高は約57mである。

江戸時代旗本浅井氏の居城（築城は浅井光政）と言われているが、それ以前にも城として利用されていたとも伝わる。

今回の調査は、宅地開発にともなう事前の試掘調査として田辺町教育委員会が業者の依頼により実施したものである。



調査地位置図 (S=1:10,000)

2 調査概要

開発計画の道路部分にトレンチを T 字に設定し、西側に突出した部分を 1 トレンチ、南北に長い部分を 2 トレンチ、東側に突出した部分を 3 トレンチとした。その後必要に応じ少しの拡張や追加のトレンチ設定（4 トレンチ）を行った。

1 トレンチ

上層 城跡にともなう土塁の基部と付属する土塁内側の小さな溝が見つかった。また土塁がほぼ直角に曲がる内側のコーナー部分が見つかり、その場所には水溜に使われたとみられる井戸（SE12）が存在していた。

下層 土塁に付属する内側の溝（SD11）が見つかったほか、土塁基部の上面から弥生時代の柵になるとみられる柱穴が見つかった。

2 トレンチ

上層 北側で炭を焼いたかとみられる窯跡 2 か所（SX06・SX07）と用途不明の溝が、南側では土塁の基部と外側の堀の斜面、内側の溝（SD08）が見つかった。

下層 北側で土塁内側の溝（SD05）、南側でも土塁内側の溝が見つかった

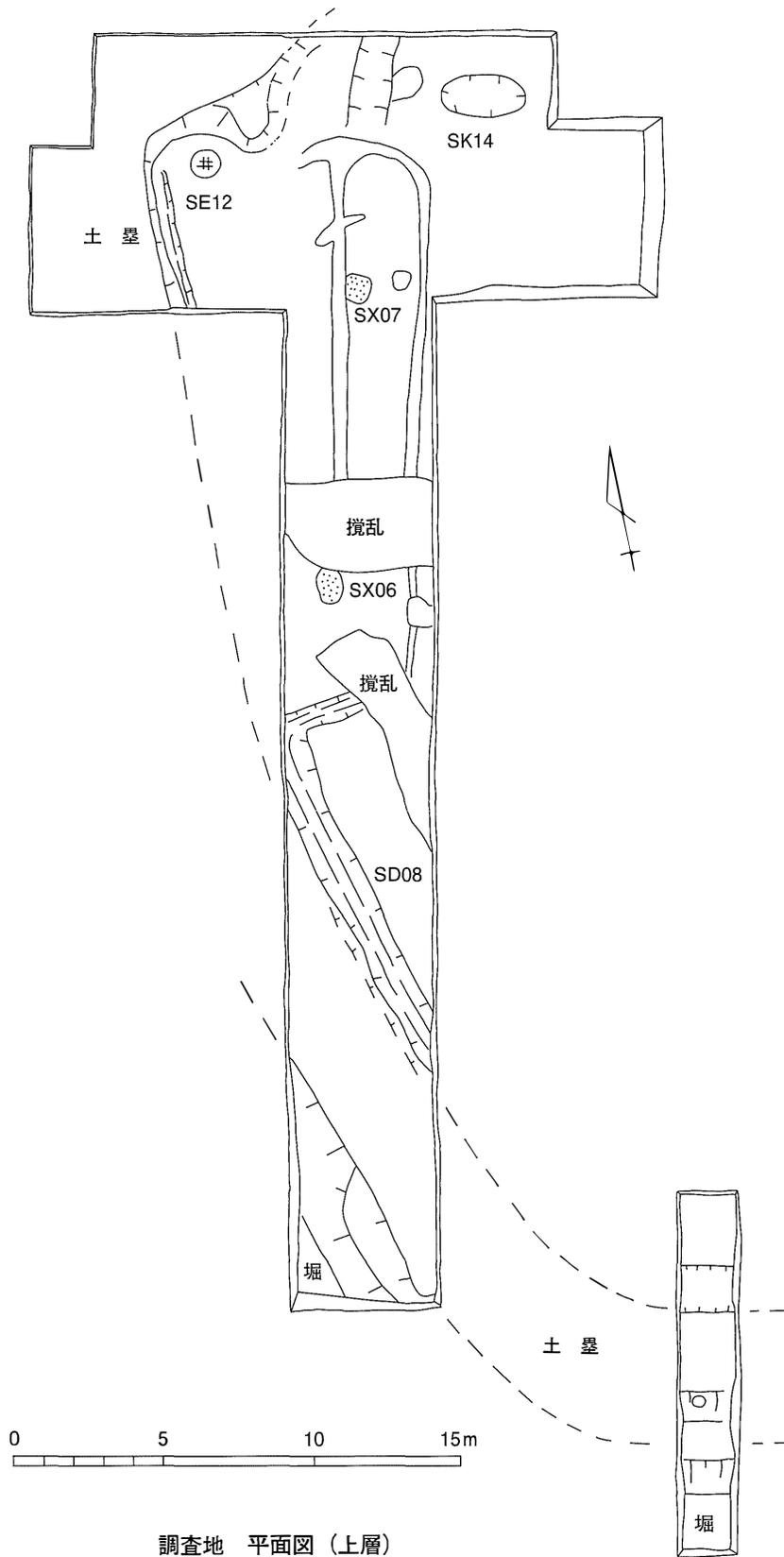
3 トレンチ

上層 内部に石が詰まった土壇（SK14）が見つかった。

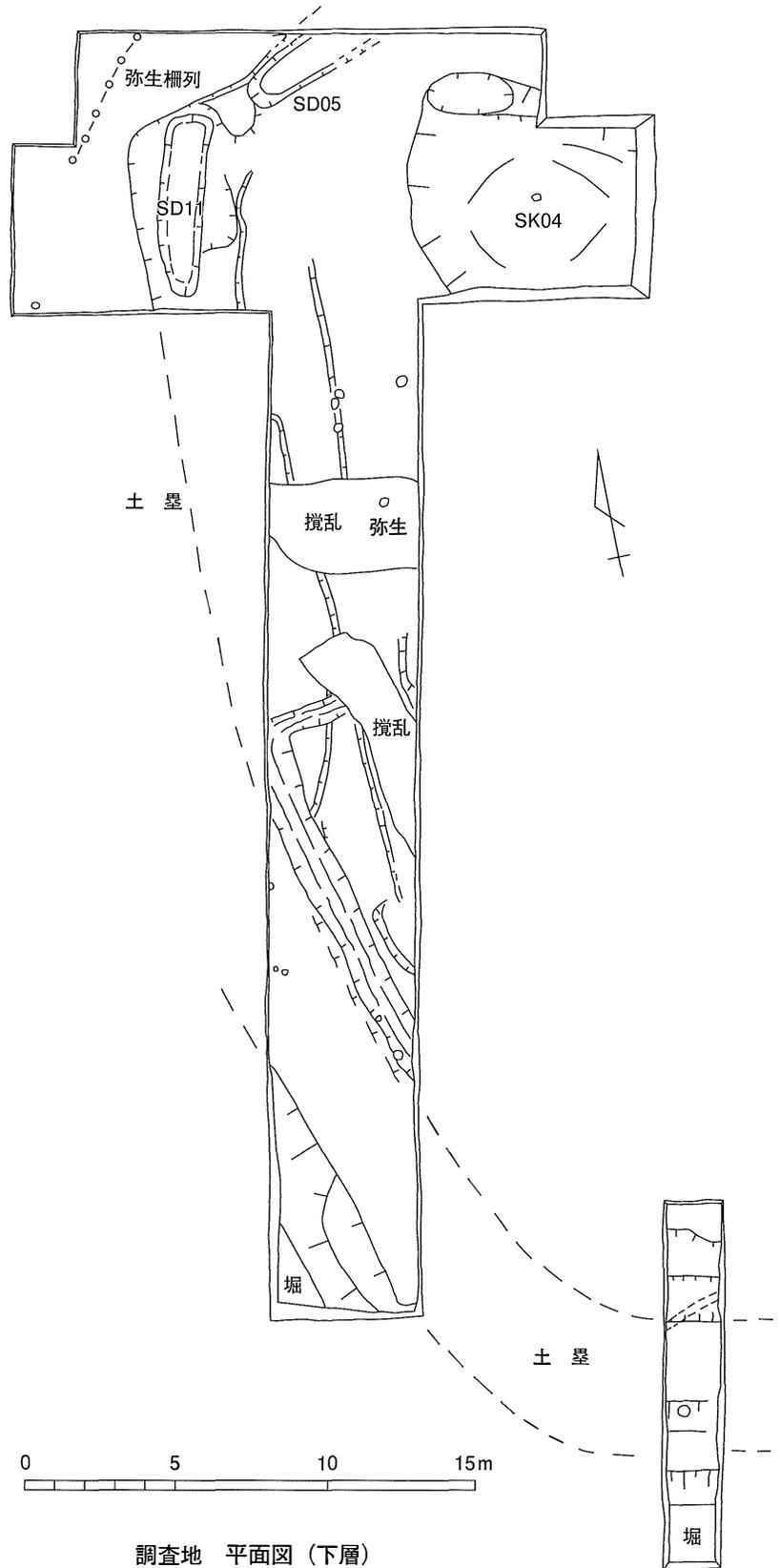
下層 トレンチを越えて広がるような土壇（SK04）が見つかった。

4 トレンチ

土塁の延長部を確認するため 2 トレンチの東側に設けたトレンチで、土塁・内側の溝・外側の堀斜面が見つかった。



調査地 平面図 (上層)



調査地 平面図 (下層)

3 出土遺物

各トレンチ・遺構から整理箱にして5箱分の遺物がみつかった。中国製の青磁椀、国産陶磁器では備前の播鉢・信楽のカメ・美濃の天目椀・常滑のカメ、土師器の皿・羽釜、瓦器の羽釜・火鉢、鉄釘、銅製の鉾・鈴、弥生土器、サヌカイト片がある。

4 まとめ

南山城跡での初めての調査であったが、多くの成果が得られた。わかったことを以下に箇条書きにしてまとめておきたい。

1 城の造られた時期が戦国時代末（16世紀後半）であることがわかったこと

これまでは江戸時代の旗本浅井光政の造ったものあるいはそれ以前に造られたものと伝えられていたが、下層の溝などからみつかった土器は16世紀後半頃のもので、そのころに造られた城であるとみられ、その後補修されたものと考えられる。

2 城西辺部の一辺の長さが、内側で約42mであることがわかったこと

土塁の北西コーナー部と南西コーナーと推定される部分がわかることから、方形の城と考えた場合、内側で約42mであると判明した。

3 立派な堀が巡っていたことがわかったこと

2トレンチ南端で小さな平坦部がみつかったが、これが当初か補修後かは不明なものの堀の底と考えた場合、現在の地表から2.9m下になり、当時の土塁の上からだと数mはあったことが推定される。

4 弥生時代にも生活の場だったことがわかったこと

時期はよくわからないが、弥生時代の柵がみつきり、ムラの一部だったことが判明した。

図 版

図版 第1



(1) 調査前全景 (南から)



(2) 調査前全景 (南東から)

図版 第2



(1) 2トレンチ作業風景 (南から)



(2) 2トレンチ南部土塁 (北西から)

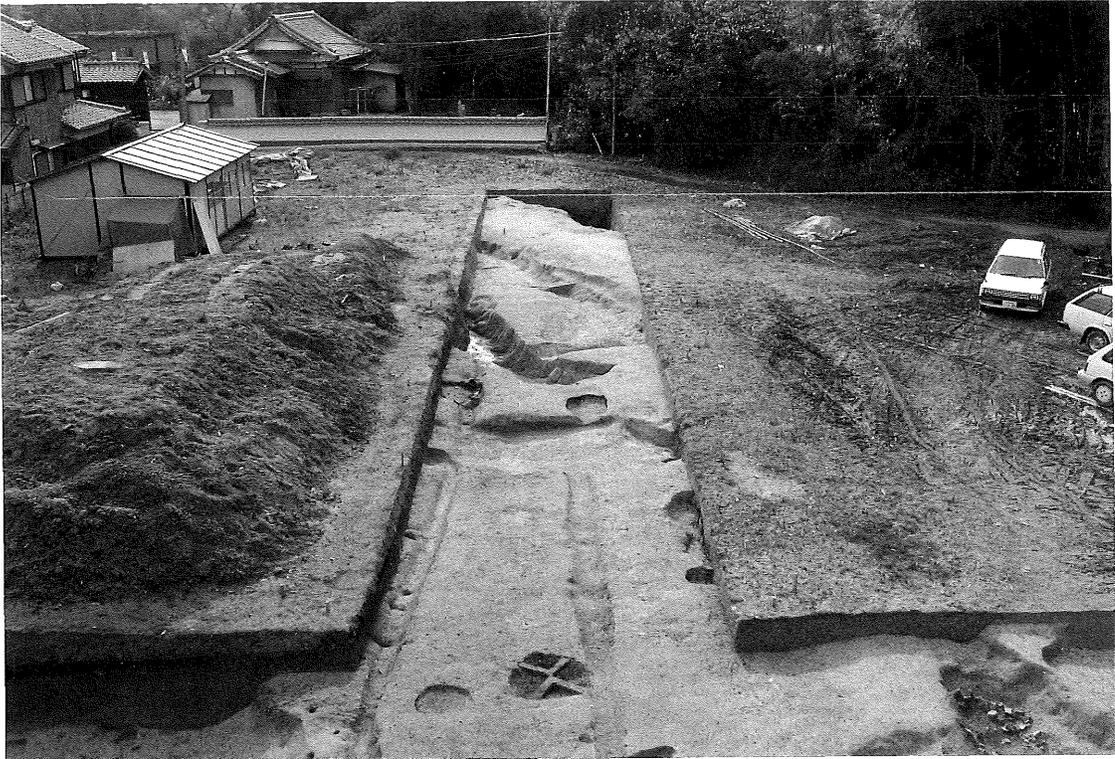


(1) 1トレンチ・2トレンチ北部上層(北から)



(2) 2トレンチ南端作業風景(北西から)

図版 第4



(1) 2トレンチ上層 (北から)

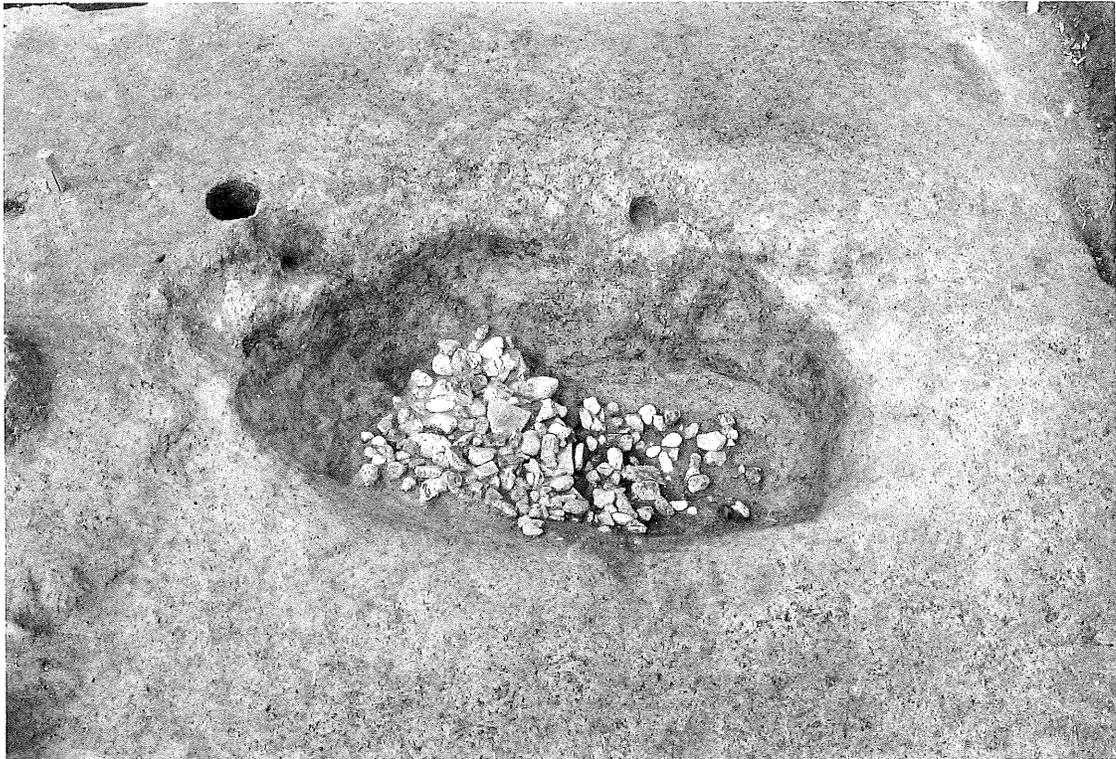


(2) 2トレンチ下層 (北から)

図版 第5



(1) 3トレンチ下層 (北西から)



(2) 3トレンチ SK14 (南から)

図版 第6



(1) 調査地北部下層 (北から)



(2) 4トレンチ (北から)



2トレンチ下層（南から）



弥生時代柵列（北東から）

平成3年3月29日 発行

南山城跡試掘調査概報

(田辺町埋蔵文化財調査報告書 第14集)

編集・発行 田辺町教育委員会
〒610-03 京都府綴喜郡田辺町
大字田辺小字田辺80番地
電話 07746-2-9550

印刷 明新印刷株式会社
〒630 奈良市南京終町3丁目464番地
電話 0742-63-0661